

## 令和7年度 大府市総合教育会議 会議要点録

日 時	令和7年9月22日（月）午前10時から午前10時50分まで
場 所	大府市役所 委員会室1
出席者	市長、教育長、西村教育長職務代理者、富田教育委員、種村教育委員、浅井教育委員、近藤教育委員
企画政策部	企画政策部長、企画広報戦略課長、企画政策係長
教育委員会	教育部長、主席指導主事、学校教育課長、放課後係長、学校総務係長、学校総務係主査
オブザーバー	新美副市長、山口副市長
公開の可否	一部非公開
傍聴者数	0人
議 題	協議・調整事項 について

### 開会

#### 1 あいさつ

- 市長
- ・9月6日に大府市制55周年式典を行った。自治功労者として浅井委員と竹中元教育委員を、一般表彰で西村委員を表彰した。
  - ・終山町で起こった交通事故で、庁内を挙げて交差点の整備や、教育委員会と連携した通学路の見直しを進めていく。
  - ・小学生の早朝の居場所づくり事業はマスコミからも注目を集めている。
  - ・本日の協議事項について、忌憚のない意見をお聞かせいただきたい。
- 教育長
- ・市長部局と教育委員会が十分な意思疎通を図って、教育のあるべき姿を共有して、民意を反映した教育行政の推進を図る場としたい。
  - ・社会が大きく変化している中で安心・安全に子育てできる環境を整えていきたい。

#### 2 協議・調整事項 小学生の早朝の居場所づくりについて

放課後係長 《事務局から内容について説明》

教育長 ・ご質問などお聞かせ願いたい。

西村委員 ・シルバー人材センターの職員3名が見守りをしているが、小学校区の人が採用されているのか。また、こどもへの声かけの仕方など採用の際に気をつけていることはあるか。こどもが好きなことが第一条件だと考えている。

放課後係長 ・シルバー人材センターが採用を実施しているが、できるだけ小学校区に住む方に依頼するようにしてもらっている。声かけの仕方、過度な接触を控えるなど、必要な注意事項等は事前にシルバー人材センターを通して伝えている。

- 浅井委員
- ・利用するにあたって条件はあるのか。
  - ・来年度以降も補助金は継続されるのか。
  - ・授業開始までに片付けをしなければならない等の負担が大きいのではないか。
  - ・体育館で実施しているが、こどもが運動したいとなるのではないか。
  - ・小さな教室で実施した方が、光熱水費も抑えられるのではないか。
  - ・共和西小学校は、放課後クラブ専用棟での実施はできないのか。
- 学校教育課長
- ・利用条件は子どもの登校より早く出勤する保護者としており、事前に登録にあった方に登録証を発行して管理している。
  - ・補助金については、現時点では次年度の確約はないが、他の補助金等の活用も含め検討していく。
  - ・学校の体育館を利用しているのは、学校の昇降口の解錠が8時以降のため、教室等の利用ができないことや、鍵の管理の問題もあるため体育館を利用している。
  - ・放課後クラブ専用棟の利用については、放課後クラブの備品等があるため、破損等が起きた場合の責任所在の観点からも体育館を利用している。
- 富田委員
- ・他の自治体では、運動場で過ごさせる自治体もあると聞いている。
  - ・保険の加入について、利用者負担、自治体負担どちらにするのか。今後、補助金がなくなった場合も踏まえて検討しなければならない。
  - ・こどもはタブレットを持っているが、早朝の時間帯にタブレット学習をしたい場合は、体育館のWi-Fi を使えるのか。
- 学校教育課長
- ・保険料の負担については、受益者負担も含め今後検討していく。ただし、放課後クラブの利用者は、その保険が早朝預かりについても適用される。
  - ・体育館もWi-Fi があるためタブレット利用は可能。
- 種村委員
- ・メディアの情報を見て途中で登録したいという声が出た場合、登録は可能なのか。
  - ・シルバーの見守りについて、トラブルがあった場合にシルバー以外で対応できる人はいるのか。
- 学校教育課長
- ・通学団編成の関係もあるので、募集期間に申請があった人のみを対象としている。ただし、他市からの転校等の場合は随時対応していく。
  - ・利用中にトラブルがあった場合は、一旦、シルバー人材で対応する。シルバー人材から毎日報告があるので、対応が必要な場合は事務局が把握し対応する。
- 近藤委員
- ・募集のタイミングを早くしてもらえともう少し利用者が集まるのではないか。
  - ・保護者の仕事の契約更新のタイミングなども関わってくる。
- 学校教育課長
- ・新小学1年生の保護者に対しては入学説明会で案内する。

- 浅井委員 ・学校の先生がアルバイトで見守員となることは可能か。
- 学校教育課長 ・制度上は兼職兼業の申請をすればできないことは無い。ただし、その場合、希望する教員の時間外勤務の時間数を勘案して学校長が判断し、教育委員会に申請することになる。
- 西村委員 ・今後、全校でやる場合はあと21人の見守りが必要となるが、人材が集まらなかった場合に近隣市町のシルバー人材センターに協力を依頼することはできるのか。
- 放課後係長 ・シルバー人材センターと協議する中では、シルバー人材センターの請け負う他の草刈り業務などと比較すると早朝の預かり業務は好評と聞いている。3名体制を基本としているが、シフトを回していく関係で5名程度が順に勤務している。
- 富田委員 ・シルバー人材センター以外の一般公募をしてもいいのではないかと。神奈川県の大磯町は2校でやっている。  
 ・児童の人数が少なければ、1か所で実施して時間になったらタクシーで各校へ送迎する方法もあるのではないかと。  
 ・東京23区でも実施する予定とのこと、今後全国的なトレンドになっていく可能性もあると思うのでしっかり考えていかなければならない。
- 学校教育課長 ・保育園等の年長の保護者にアンケートをとるなどニーズも把握したうえで次年度以降の事業について検討していく。
- 近藤委員 ・こどもを学校に送り出すことを考えて正規で働くことを諦めている人もいると思う。  
 ・市のPRにもなると思うので、継続して行ってほしい。
- 市長 ・保育園には朝7時頃からこどもを送ってくる人も多いので、需要があるのではないかと。  
 ・来年度以降に全校展開していくかは未定であるが、保護者のニーズはあると思うので、教育委員会としっかり検討していく。  
 ・利用料について、議会からも有料にしてはどういう意見が出ている。国からの補助金がない場合は一定の受益者負担を検討しても良いのではないかと考えている。  
 ・教員の副業については思いつかなかったが、自治体職員の副業含めて検討していかなければならない。  
 ・朝ご飯を食べずに登校するこどものために、朝食の提供をしている自治体もある。  
 ・大府市の子育て支援のパッケージとして考えていかなければならない。